

2024 年 8 月 28 日

病院倫理委員会で承認された治療法

当院の病院倫理委員会で下記の医療が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページに情報を公開することにより投薬を実施しております。この内容に関して同意できない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。なお、本件について同意できない場合でも診療において不利益を被ることはありません。

記

実施内容	ケナコルト-A®筋注用関節腔内用水懸注 40mg/1mL (合成副腎皮質ホルモン剤、トリアムシノロンアセトニド水性懸濁注射液) を用いた硝子体手術時の硝子体可視化
実施責任者	久留米大学病院 病院長 野村 政壽
対象者	硝子体手術を受ける患者
承認日	2024 年 8 月 28 日
対象期間	承認日から永続的
目的・意義	硝子体手術時に硝子体可視化剤としてトリアムシノロンを使用します。 マキユエイド眼注用®40mgがその適応薬剤ですが、現在供給停止となっており臨時的に上記薬剤を使用することとします。トリアムシノロンは非水溶性の白色微細粒子状のステロイド薬です。硝子体手術中に眼内に少量を注入することにより、その粒子が硝子体ゲルに付着するため、本来透明で観察が困難な硝子体を可視化することが可能となります。本方法により硝子体手術がより確実かつ安全となり、手術時間も短縮されると共にステロイド剤の抗炎症作用という副次的に効能も含め、手術予後が明らかに向上します。
想定される不利益と対策	残存した薬剤による眼圧上昇等の可能性はありますが、手術中に洗浄を十分に行い残留量を最小限にします。
問い合わせ先	久留米大学病院 眼科担当医師 電話 0942-35-3311 (代表)

以上